

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
ご理解をいたします。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ


壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。


警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損傷を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

対応モデル

対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。本製品が使用できるかどうかはテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

お客様へ



火災




感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・落下**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する

また取り付けのときは幼児を遠ざける

正しく取り付けないと、以下のよう
なことがおこります。取り付けは専門業者に
ご依頼ください。  **禁止**

- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。(テレビの質量は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。)
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。


テレビの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の方が移動や取りはずしを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。  **禁止**

対応モデル以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは対応モデル専用です。対応モデル以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビ以外の荷重を掛けない
落下によるけがや破損の原因となることがあります。



テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。



テレビをむやみに上下左右に揺らさない。

落下による怪我や破損の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 機械的振動の多い場所では使用しないでください。

壁掛けユニットを取り付ける

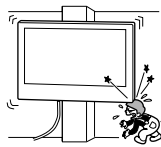
販売店様・特約店様用

警告

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みのうえ、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

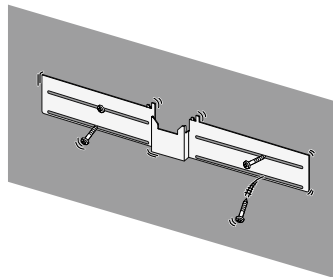
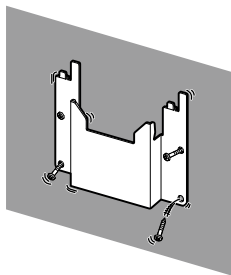


エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(径8mm相当4本以上)で、しっかりと固定してください。



取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

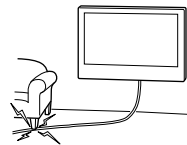
垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

テレビを床に垂直に取り付けて固定する

テレビを傾けた状態で取り付けると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。

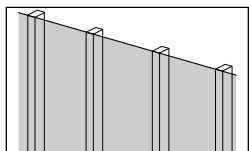
目次

テレビを取り付ける壁の種類は？	4
作業の流れ	5
付属品、必要な工具など	6
A 木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける	8
B コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける	16
主な仕様	25

テレビを取り付ける壁の種類は？

はじめに、テレビを取り付ける壁の種類を確かめてください。
壁の種類によって、使用する壁掛けブラケットの種類が異なります。

木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合

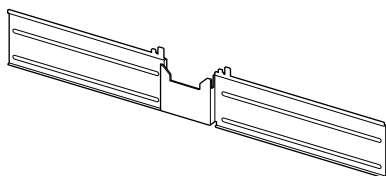


ご注意

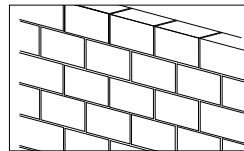
- 壁面を覆う石膏ボードや、壁面パネルなどの厚みは、16mm未満にしてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける柱の寸法は、取り付ける面の幅38mm、奥行き89mm以上が必要です。
- 柱と柱の間隔は、220mm以上が必要です。



木柱壁用壁掛けブラケットを使用してください。



コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合

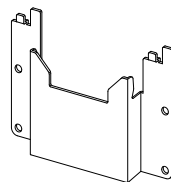


ご注意

- 壁掛けブラケットは、直接コンクリート面に取り付けてください。
- 壁掛けブラケットを取り付ける壁の厚さは、203mm以上が必要です。
- コンクリートブロック壁の場合、コンクリートブロックは、203×203×406mm以上が必要です。



コンクリート壁用壁掛けブラケットを使用してください。

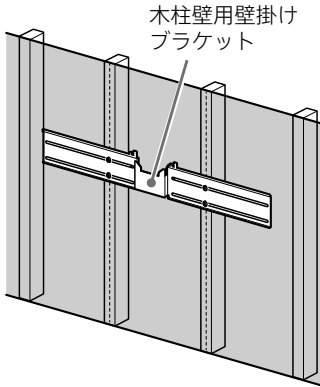


作業の流れ

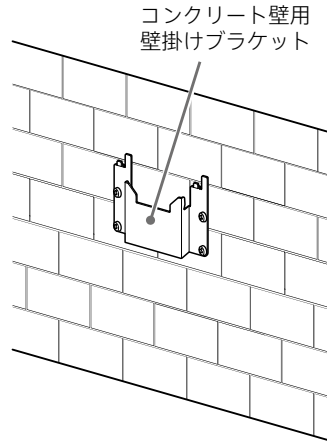
1 壁掛けブラケットを壁に取り付ける。

壁の種類に合わせて、壁掛けブラケットを取り付けます。

木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合

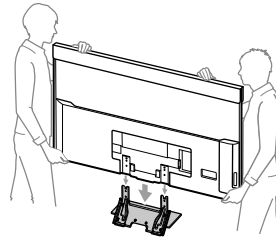


コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合

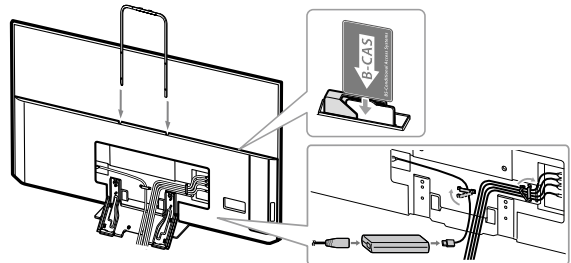


2 テレビを、いったんスタンドに取り付ける。

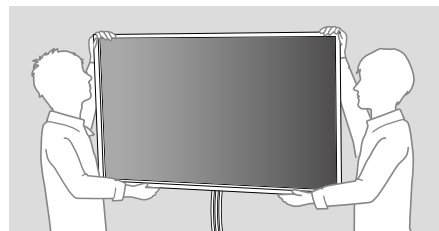
壁に掛ける前に、テレビをまっすぐに立てた状態でケーブル類などの接続を行う必要があります。そのため、いったんテレビをスタンドに仮設置します。



3 テレビに、ケーブルやU字型壁掛け金具などを取り付ける。


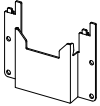
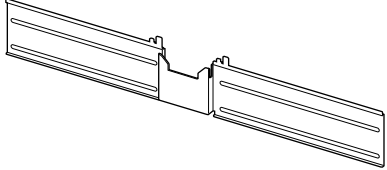


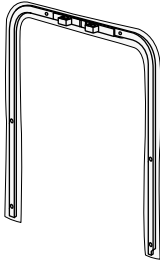
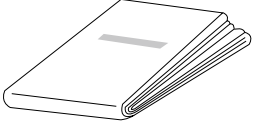


4 テレビをスタンドから外して壁に掛ける。


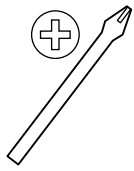
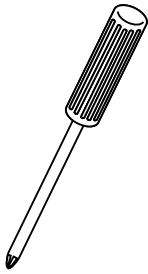
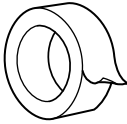

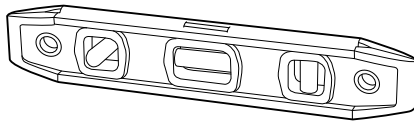






付属品、必要な工具など

付属品一覧

WM1	WM2	WM4	WM3	WM5
				
壁掛け ブラケットカバー (1個)	コンクリート壁用 壁掛けブラケット (1個)	木柱壁用壁掛けブラケット (1個)	上クッション (3個)	下クッション (2個)
UB 65 または UB 55		TM		
				
U字型壁掛け金具 (1個)		壁加工用寸法図 (1部)		

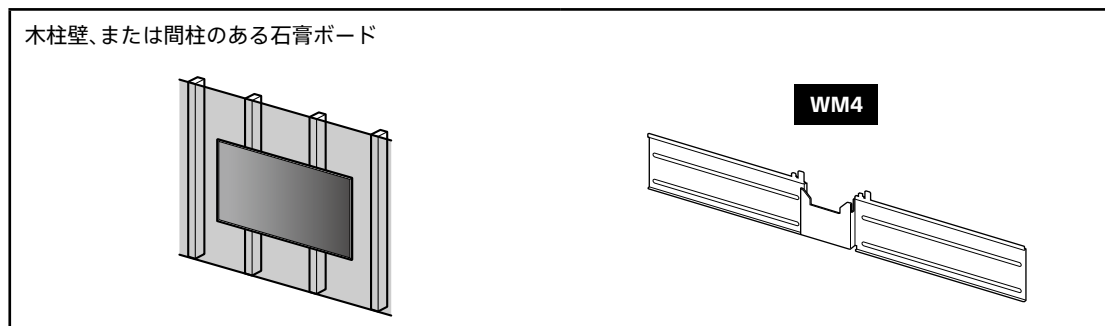
必要な工具など(付属していません。ご用意ください。)

 <p>電動ドリル/ ドライバー</p>	 <p>φ5.5mm以上 (木柱壁、または間柱 のある石膏ボードの 場合)</p>	 <p>φ10mm (コンクリート、また はコンクリートブ ロック壁の場合)</p>		 <p>ドライバー</p>
 <p>テープ</p>	 <p>筆記具</p>	 <p>水平器</p>		
■木柱壁、または間柱のある石膏ボードの場合				
 <p>間柱センサー (間柱位置の確認用)</p>	 <p>8mm径相当の木ネジ(4本)</p>	 <p>外径φ18mm以上の 平ワッシャー (4個)</p>		
■コンクリート、またはコンクリートブロック壁の場合				
 <p>ハンマー</p>	 <p>8mm径相当の木ネジに適した φ10mm相当のコンクリート 用プラグ(4本)</p>	 <p>8mm径相当の木ネジ(4本)</p>		

壁の材質に合った木ネジやコンクリート用プラグ、ワッシャーを用意してください。
(本製品には付属していませんので、販売店や工事店にご依頼ください。)

A 木柱壁または間柱のある石膏ボードにテレビを取り付ける

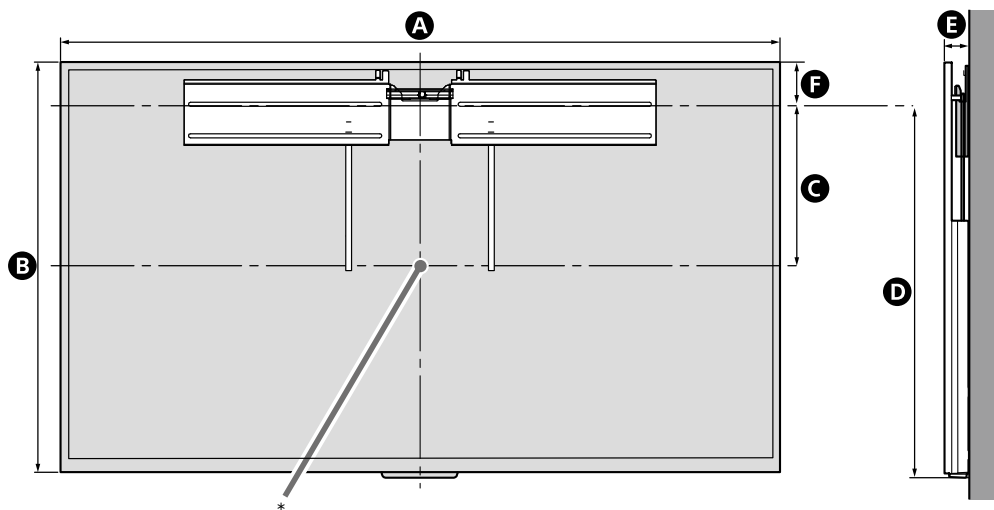
手順1：木柱壁用壁掛けブラケットを壁に取り付ける



1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の4倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース(幅、高さ、奥行き)があるかどうかを確認してください。



テレビモデル名	A	B	C	D	E	F
KJ-65X9300D	1,458	839	333	757	43	82
KJ-55X9300D	1,239	717	271	634	43	84

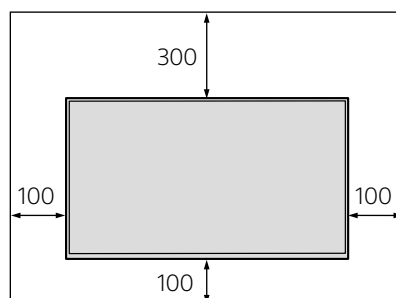
テレビ取り付けのための寸法表(mm)

(*は、画面の中心位置)

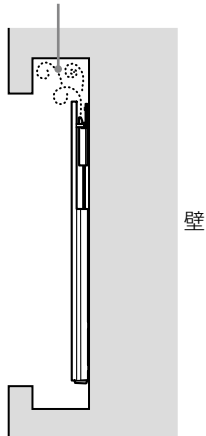
数値は、実際と若干違いがある場合があります。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。

単位：mm



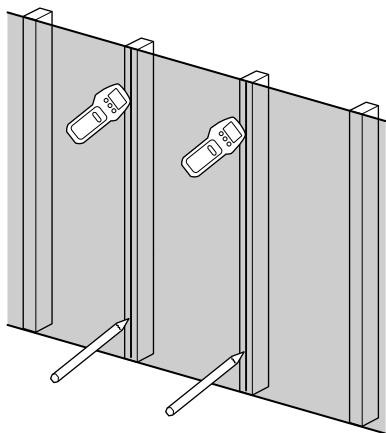
次のような設置はおやめください。
空気が抜けなくなります。



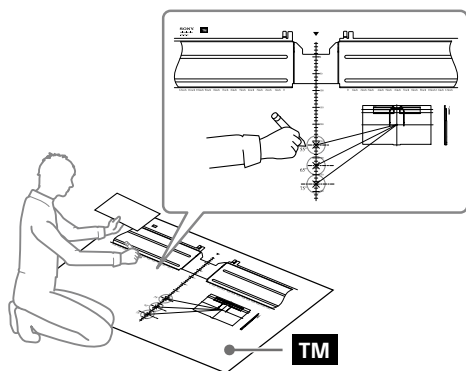
ご注意

- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

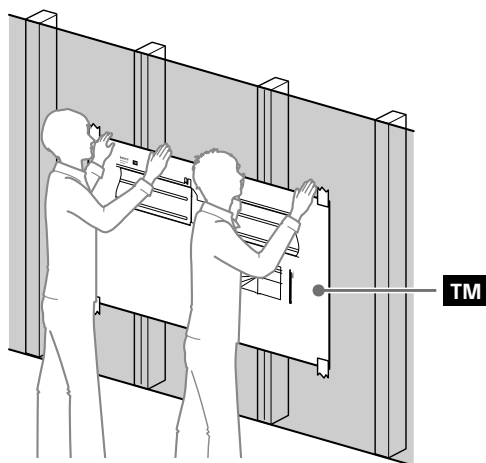
2 間柱センサーを使って、柱を探索し、梁位置の中央に線を引く。



3 壁加工用寸法図 **TM** で、テレビ中央の位置を確認する。

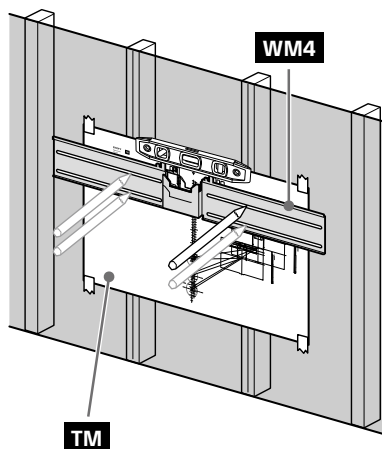


4 壁加工用寸法図 **TM** をテープで壁に仮止めする。



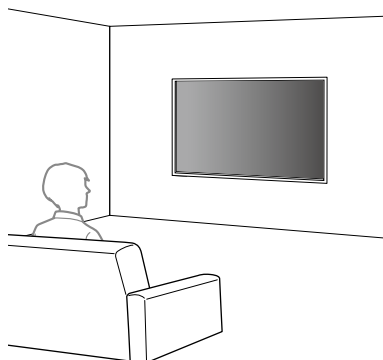
5 木柱壁用壁掛けブラケット **WM4** を壁加工用寸法図 **TM** に合わせて置き、柱に合わせて穴あけ位置の印を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

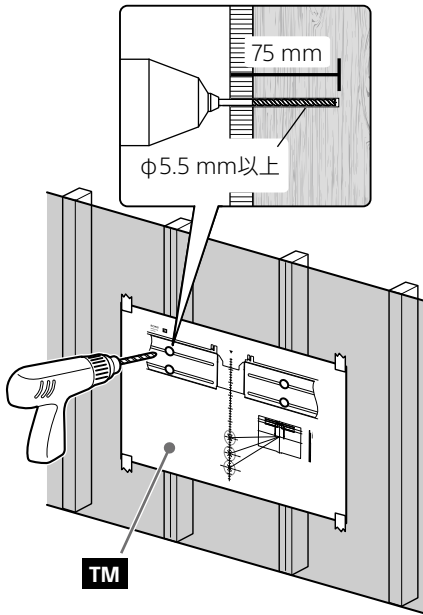


ヒント

- テレビを通常視聴される環境(ソファなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



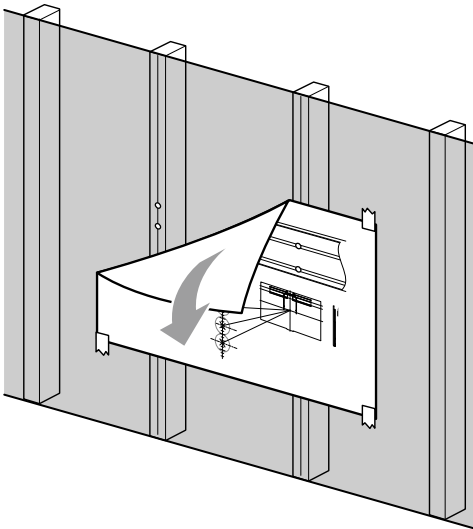
- 6 木柱壁用壁掛けブラケット **WM4** を取り外し、壁加工用寸法図 **TM** の上から印に合わせて柱に下穴(4箇所)をあける。



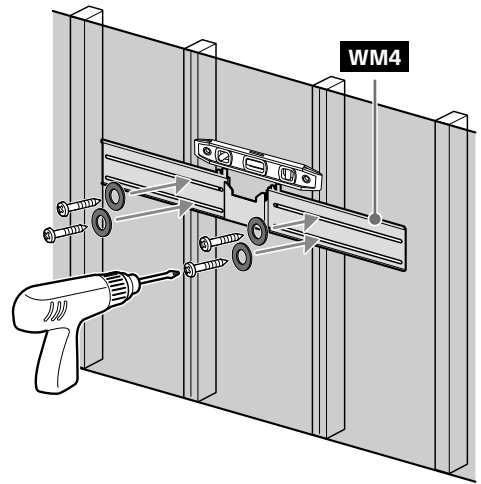
ご注意

- 必ず、木柱の中心線上に穴を開けてください。
- 下穴は、5.5mm径以上のドリルで、75mmの深さまで開けてください。

- 7 壁加工用寸法図 **TM** を壁からはがす。

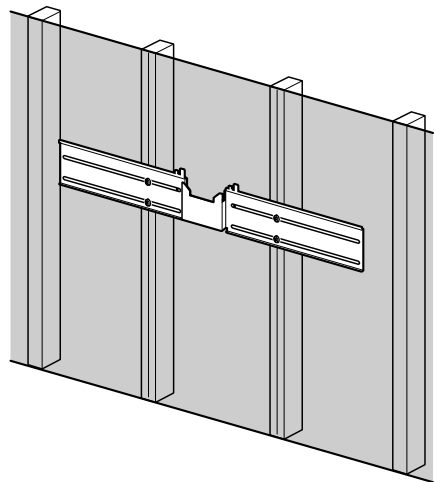


- 8 木ネジ(別売)とワッシャー (別売)で、木柱壁用壁掛けブラケット **WM4** を壁に取り付ける。



ご注意

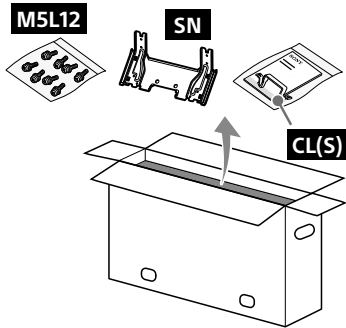
- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。



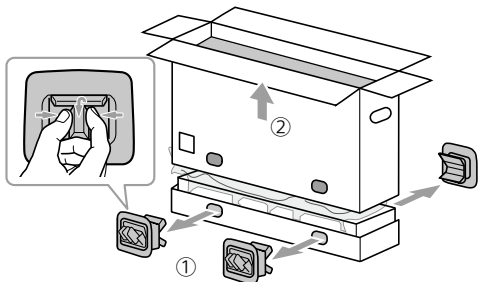
手順2：テレビをいったんスタンドに仮取り付けし、ケーブルやU字型壁掛け金具を取り付ける

テレビを壁に取り付ける前に、配線をする必要があります。そのため、いったんテレビをスタンドに取り付けます。

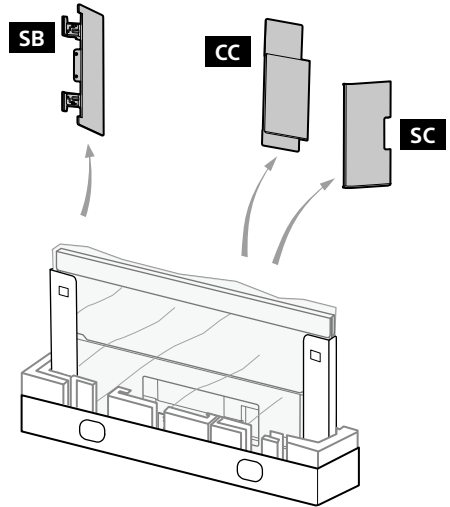
- 1** テレビの Karton (箱) から同梱物を取り出す。



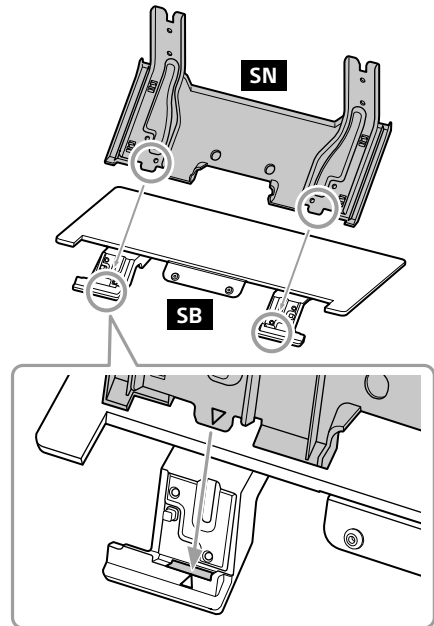
- 2** Karton (箱) からジョイントを取り外し①、箱の上部を取り外す②。



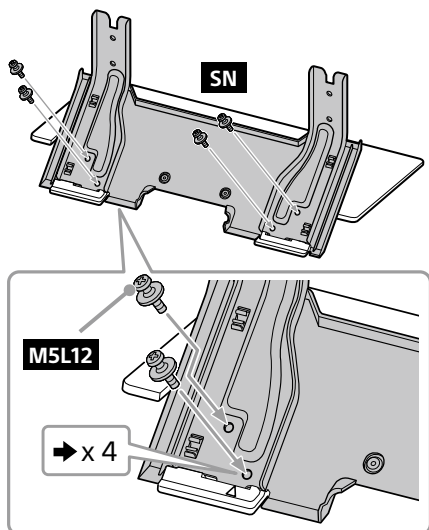
- 3** スタンドベース、センターカバー、スタンドカバーを取り出す。



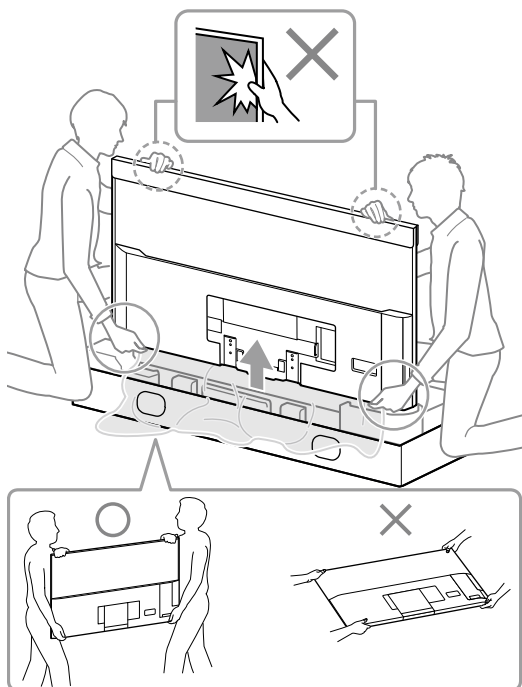
- 4** スタンドネックをスタンドベースに取り付ける。



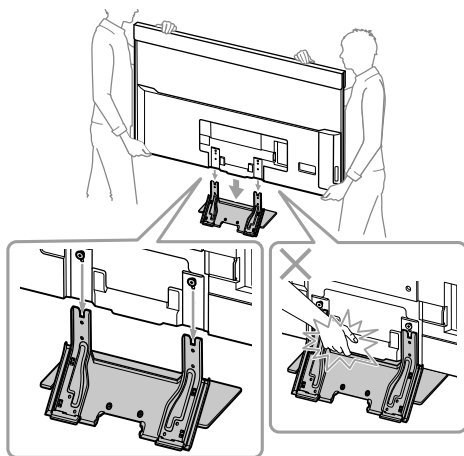
5 スタンド組み立て用ネジ(4本)で固定する。



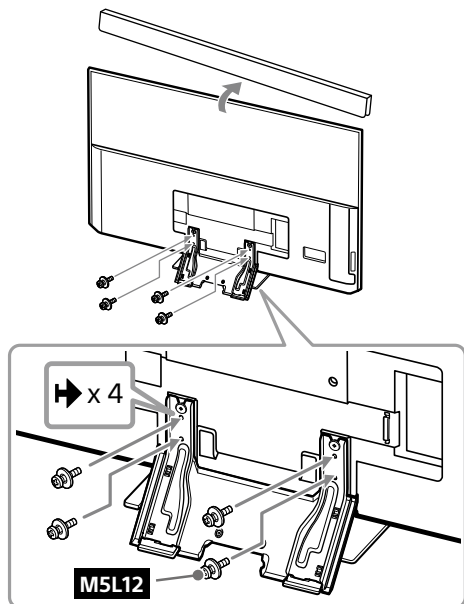
6 テレビをしっかり持ち、箱から取り出す。



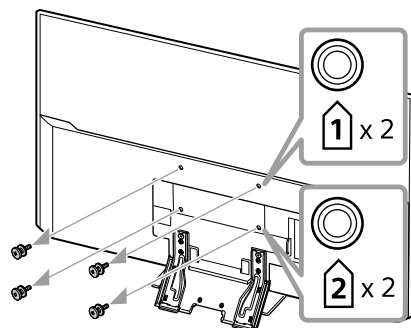
7 テレビをスタンドに取り付ける。



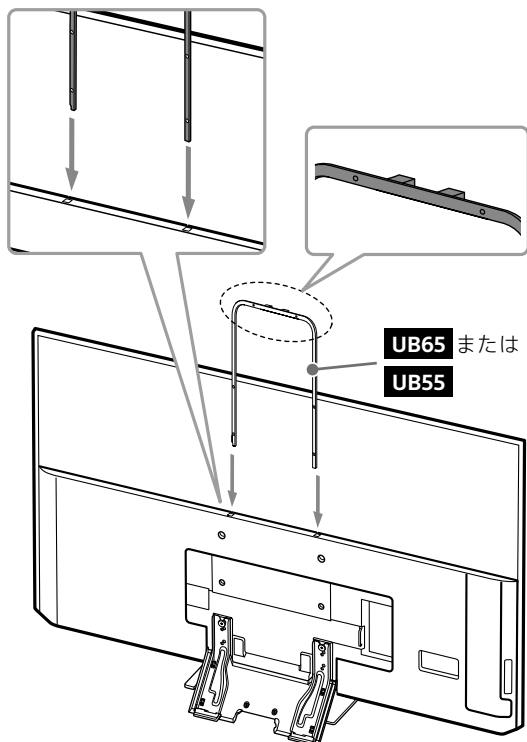
8 スタンド組み立て用ネジ(4本)でテレビをスタンドに固定する。



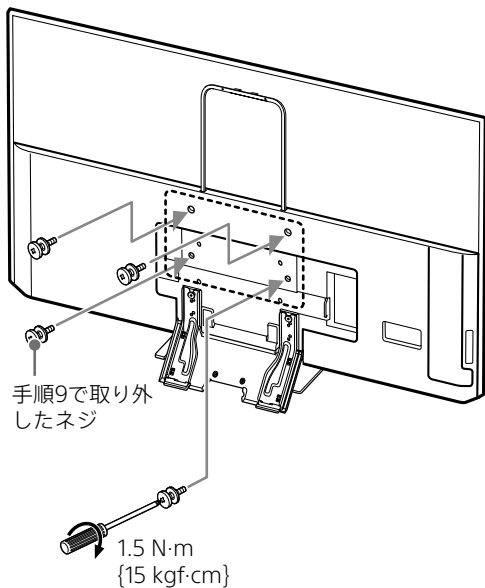
9 テレビの背面からネジを4本取り外す。



10 U字型壁掛け金具 (**UB65** または **UB55**) をテレビの背面に取り付ける。

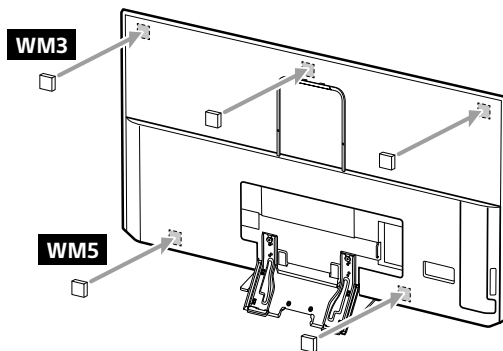


11 手順9で取り外したネジでU字型壁掛け金具を固定する。



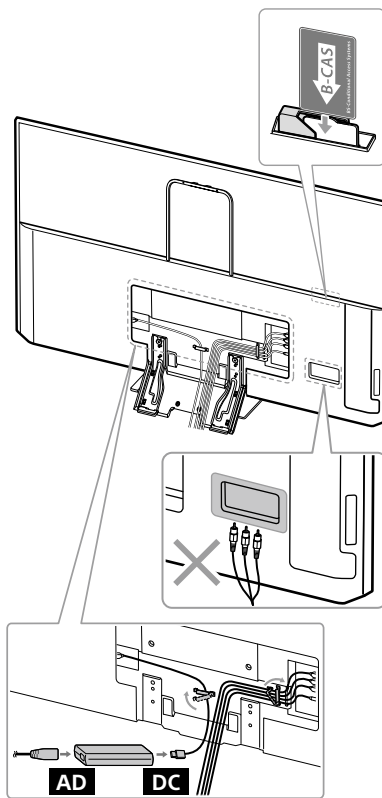
12 クッションを取り付ける。

上クッション **WM3** は、テレビを壁に掛けた後、テレビ下側を手前に引っ張ったときに、テレビが壁とぶつからないためのものです。下クッション **WM5** は、壁に対してテレビを平行にするためのものです。



13 ケーブル類を取り付ける。

アンテナなどの接続方法は、テレビの取扱説明書類もご覧ください。

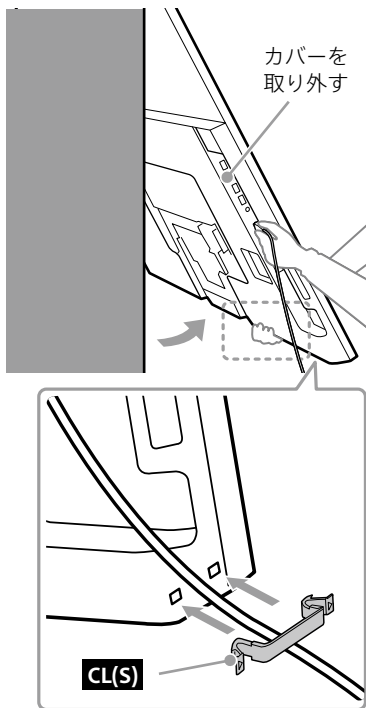


ご注意

- テレビを壁に掛けた後で、テレビ背面の端子にケーブル類を取り付けることはできません。壁に掛ける前にケーブル類を取り付けてください。
- テレビを壁に取り付けた場合、テレビ背面のコンポーネント入力端子とビデオ入力端子は使用できません。

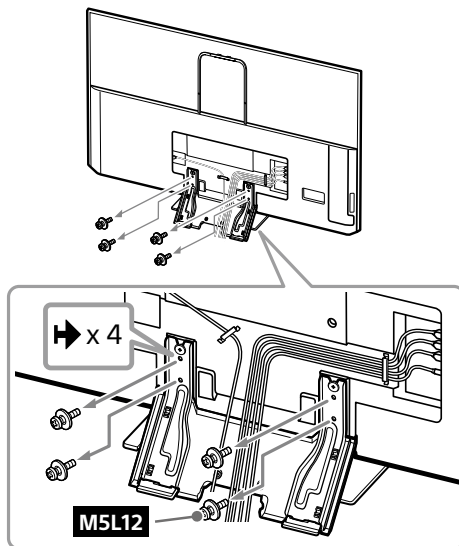
ヒント

- テレビ側面の端子には、テレビを壁に掛けた後も、テレビを傾けてケーブル類を取り付けられます。

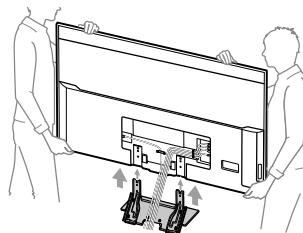


手順3：テレビを壁に掛ける

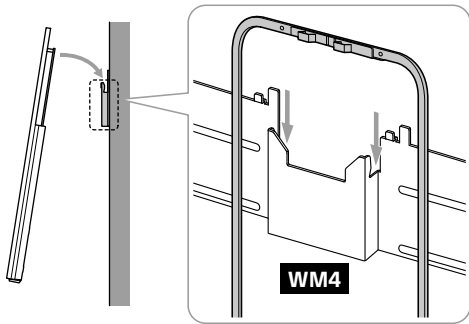
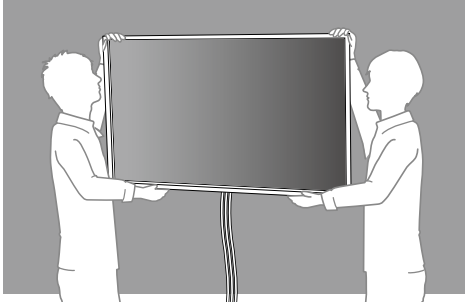
- 1 スタンドを固定しているネジを取り外す。



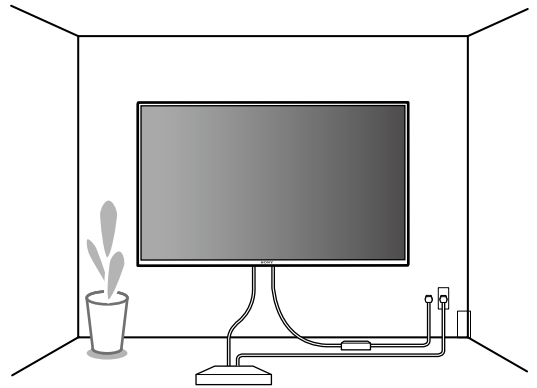
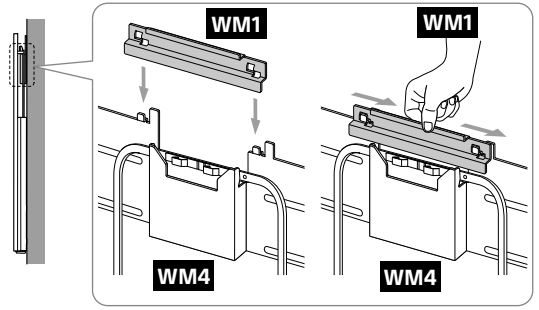
- 2 テレビをスタンドから取り外す。



3 テレビを持ち上げて、背面のU字型壁掛け金具を壁掛けブラケットに取り付ける。

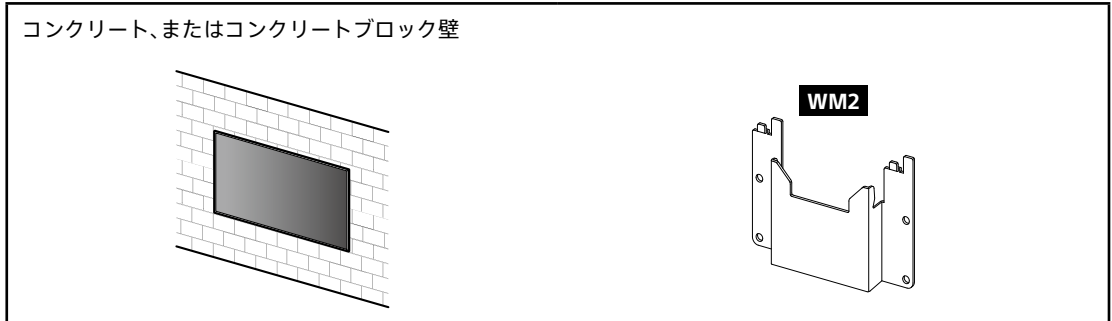


4 壁掛けブラケットカバー WM1 を上から取り付け、右にスライドしてロックする。



B コンクリートまたはコンクリートブロック壁にテレビを取り付ける

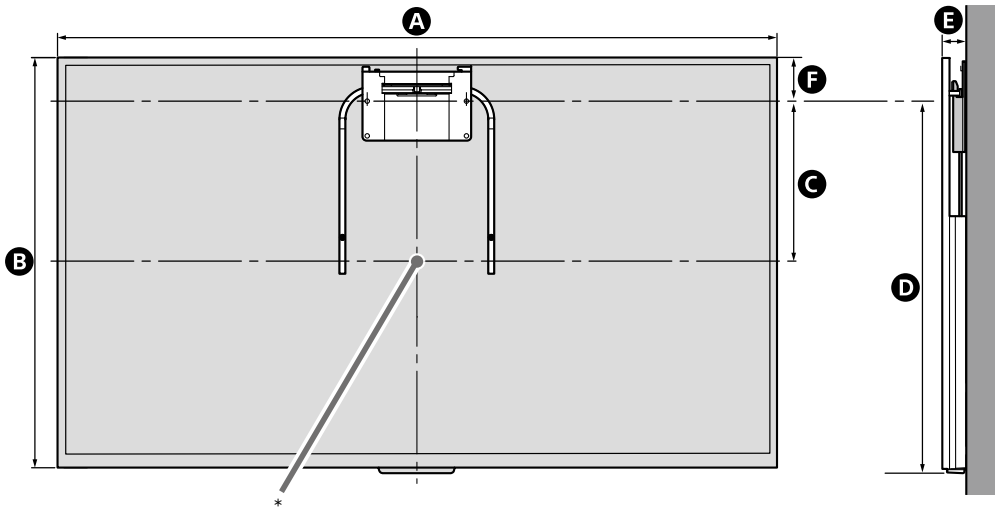
手順1：コンクリート壁用壁掛けブラケットを壁に取り付ける



1 テレビの取り付けに必要な壁の強度とスペースを確認する。

取り付ける壁には、テレビの質量の4倍に耐えられる強度を要します。

テレビを取り付ける壁に、テレビを取り付けられる十分なスペース（幅、高さ、奥行き）があるかどうかを確認してください。



テレビモデル名	A	B	C	D	E	F
KJ-65X9300D	1,458	839	333	757	37	82
KJ-55X9300D	1,239	717	271	634	37	83

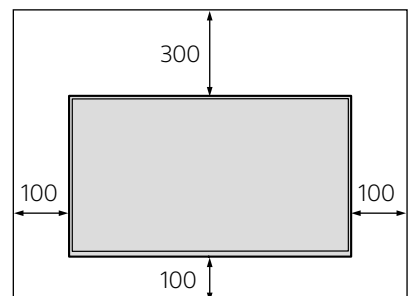
テレビ取り付けのための寸法表 (mm)

(*は、画面の中心位置)

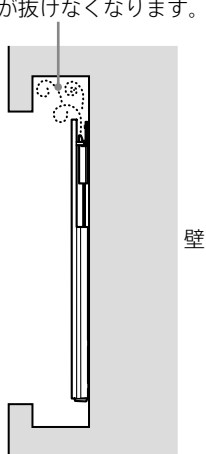
数値は、実際と若干違いがある場合があります。

テレビの周囲には、右の図に示す寸法の空きが必要です。

単位：mm



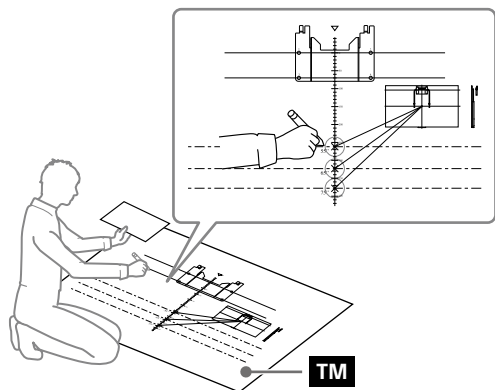
次のような設置はおやめください。
 空気が抜けなくなります。



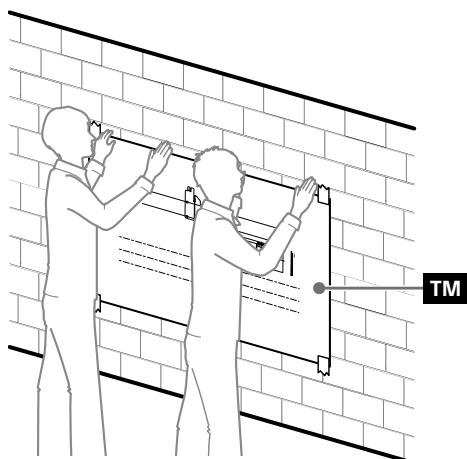
ご注意

- 壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかを確認してください。

2 壁加工用寸法図 **TM** で、テレビ中央の位置を確認する。



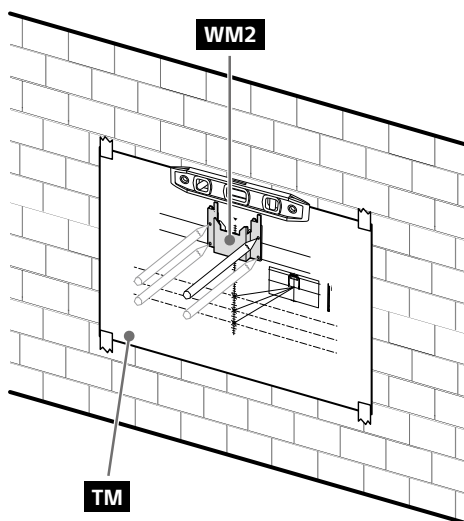
3 壁加工用寸法図 **TM** をテープで壁に仮止めする。



4 コンクリート壁用壁掛けブラケット

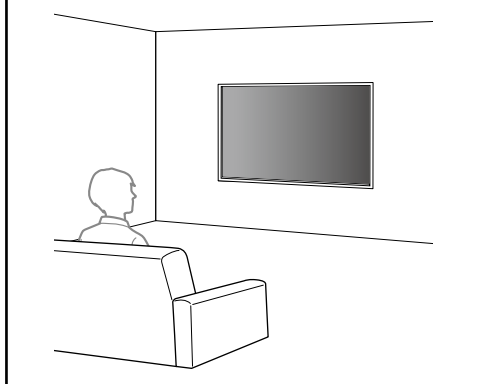
WM2 を壁加工用寸法図 **TM** に合わせて置き、穴あけ位置の印を付ける。

ブラケットが床と平行になるように、水平器を使用してください。

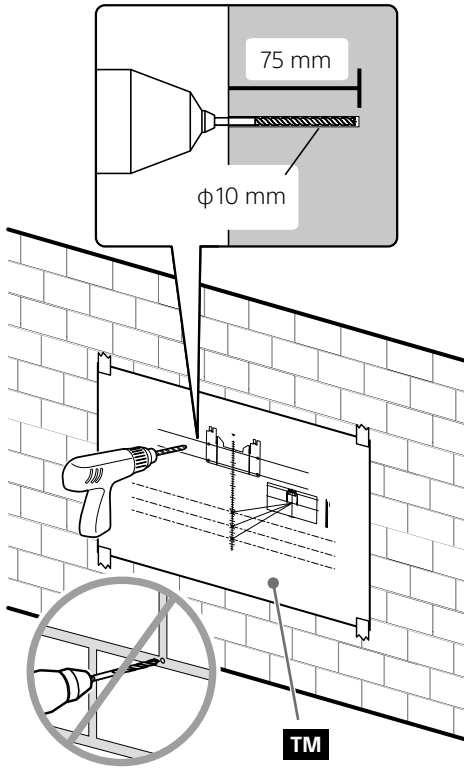


ヒント

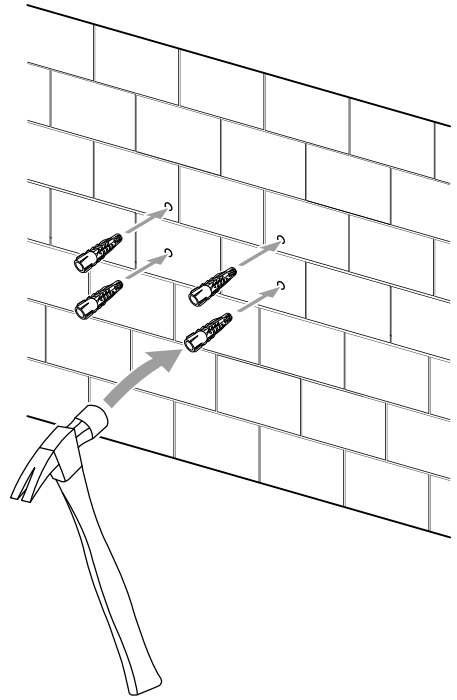
- テレビを通常視聴される環境(ソファなど)で、テレビを取り付ける位置を調整することをおすすめします。



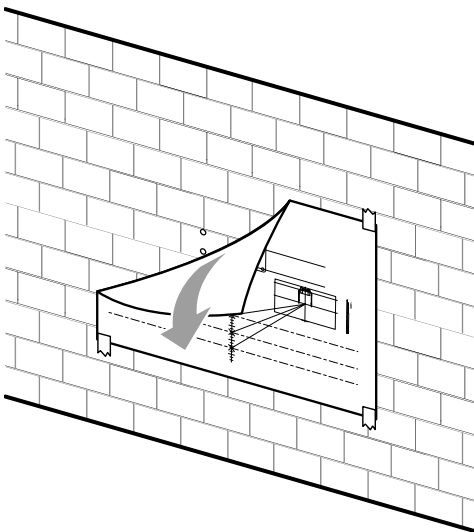
- 5 コンクリート壁用壁掛けブラケット
WM2 を取り外し、壁加工用寸法図 TM
の上から印に合わせて壁に下穴(4箇所)
をあける。



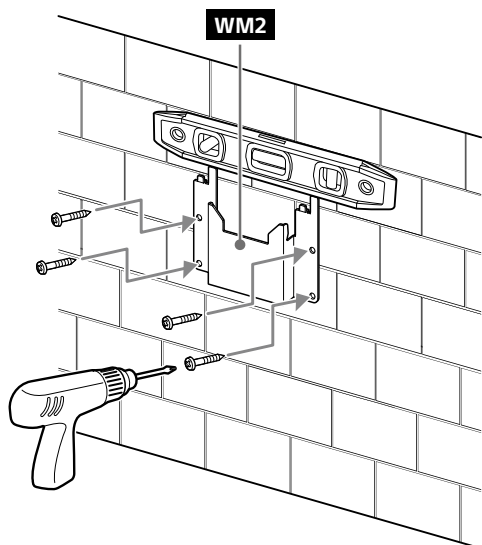
- 7 コンクリート用プラグ(別売)を壁に打
ち込む。



- 6 壁加工用寸法図 TM を壁からはがす。

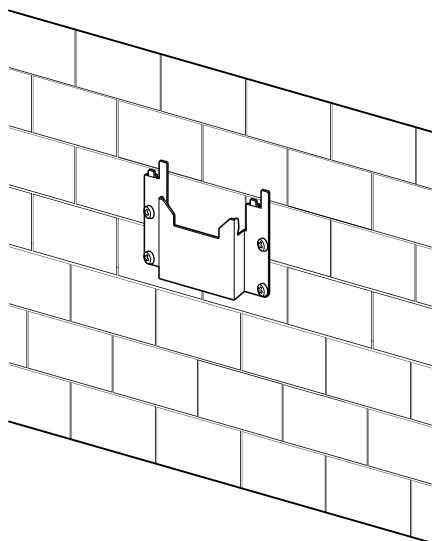


8 木ネジ(別売)でコンクリート壁用壁掛けブラケット WM2 を壁に取り付ける。



ご注意

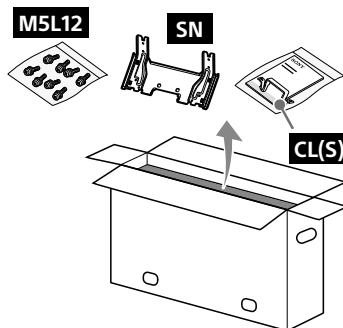
- 正しく取り付けないと、木ネジでしっかり支えることができません。また、木ネジを締め付けすぎないようにします。
- 木ネジを締め切る前に、ブラケットが水平になっているか水平器を使って確認してください。



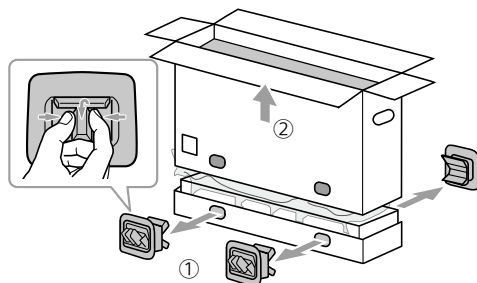
手順2：テレビをいったんスタンドに仮取り付けし、ケーブルやU字型壁掛け金具を取り付ける

テレビを壁に取り付ける前に、配線をする必要があります。そのため、いったんテレビをスタンドに取り付けます。

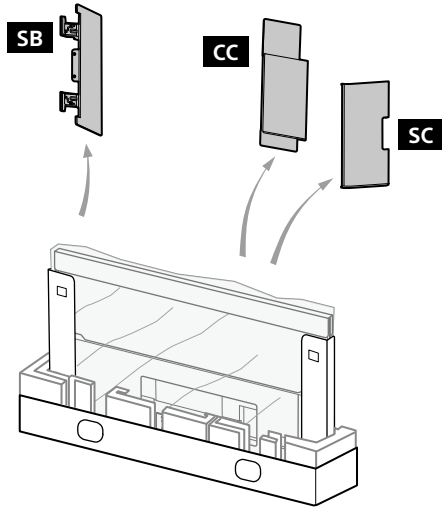
1 テレビのカートン(箱)から同梱物を取り出す。



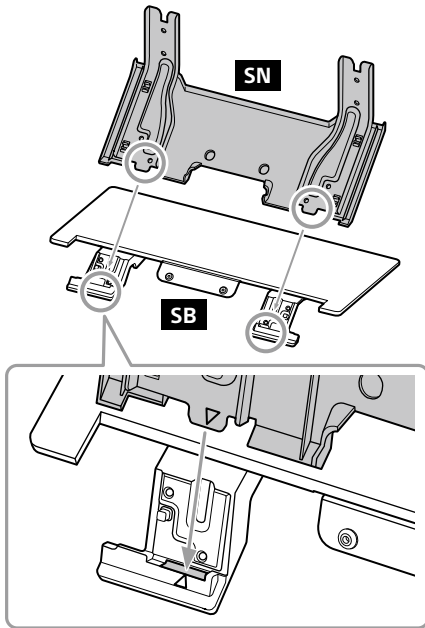
2 カートン(箱)からジョイントを取り外し(①)、箱の上部を取り外す(②)。



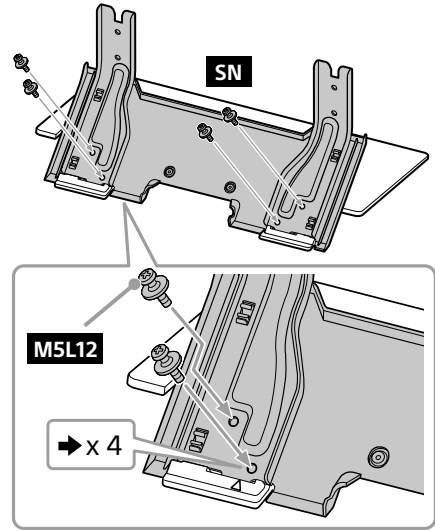
3 スタンドベース、センターカバー、スタンドカバーを取り出す。



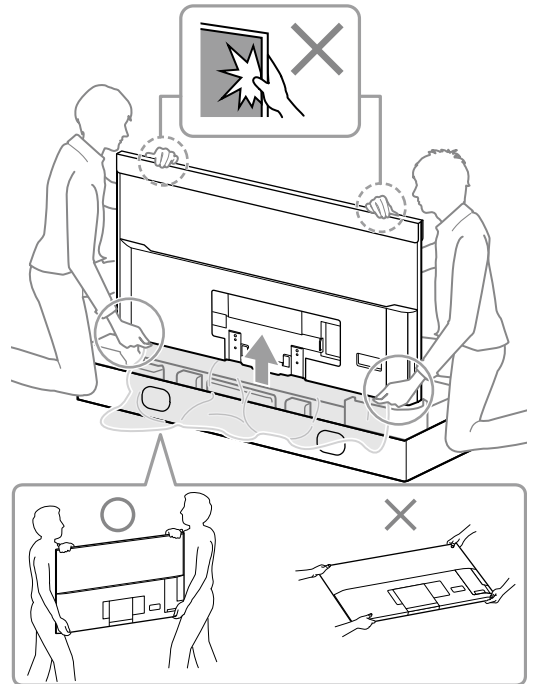
4 スタンドネックをスタンドベースに取り付ける。



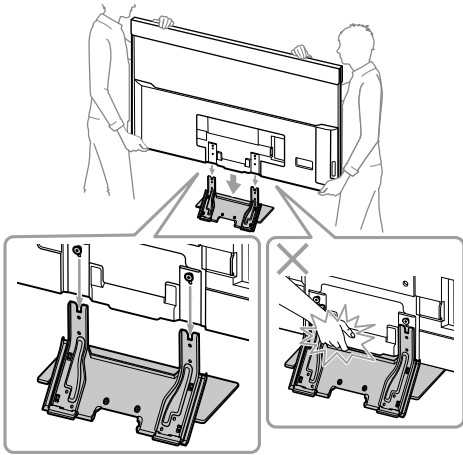
5 スタンド組み立て用ネジ(4本)で固定する。



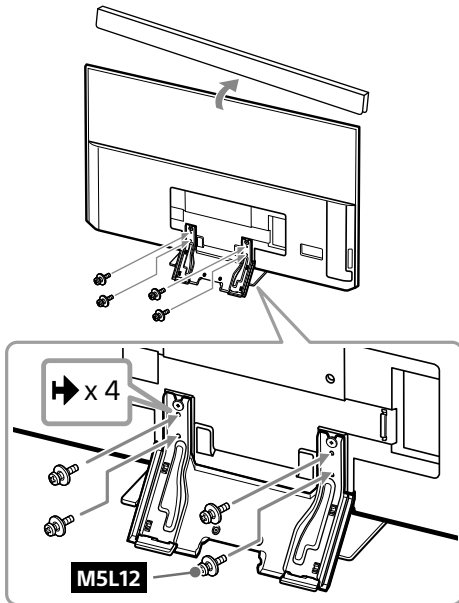
6 テレビをしっかりと持ち、箱から取り出す。



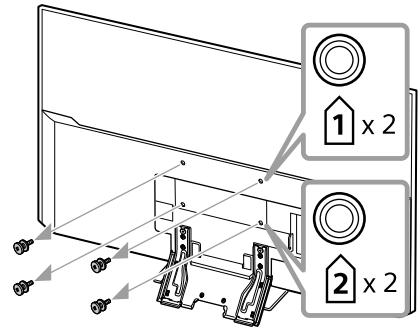
7 テレビをスタンドに取り付ける。



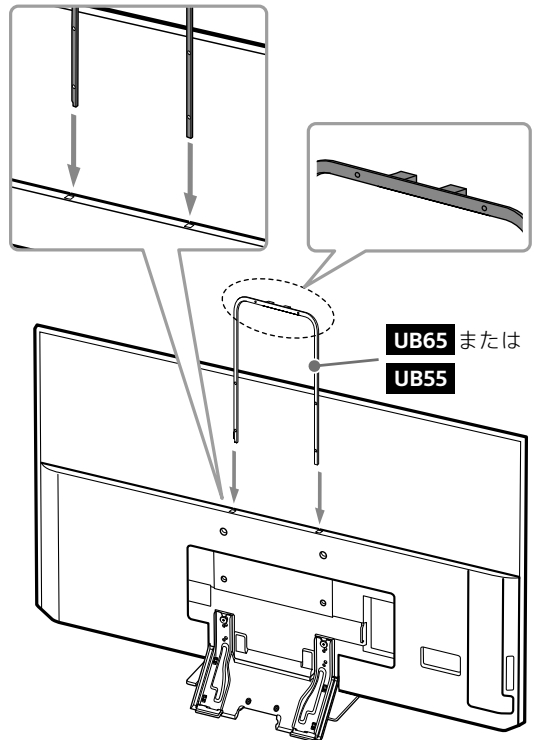
8 スタンド組み立て用ネジ(4本)でテレビをスタンドに固定する。



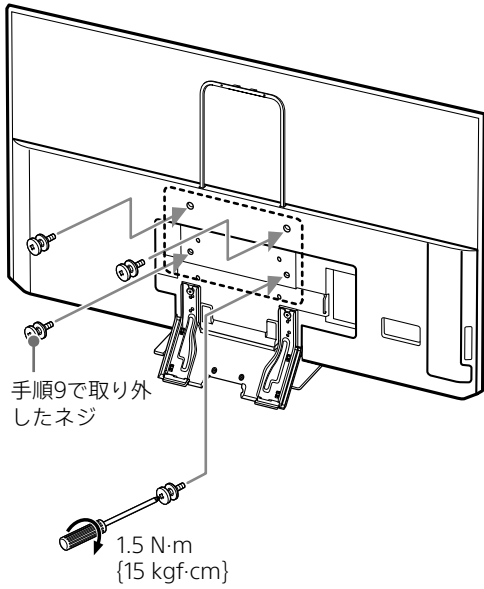
9 テレビの背面からネジを4本取り外す。



10 U字型壁掛け金具(UB65 または UB55)をテレビの背面に取り付ける。

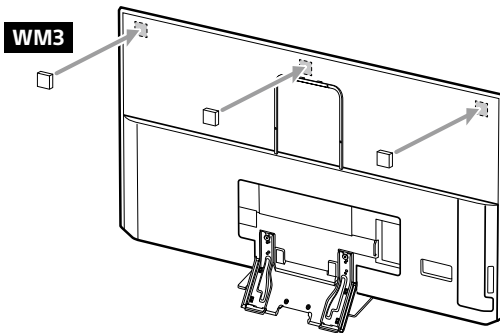


11 手順9で取り外したネジでU字型壁掛け金具を固定する。



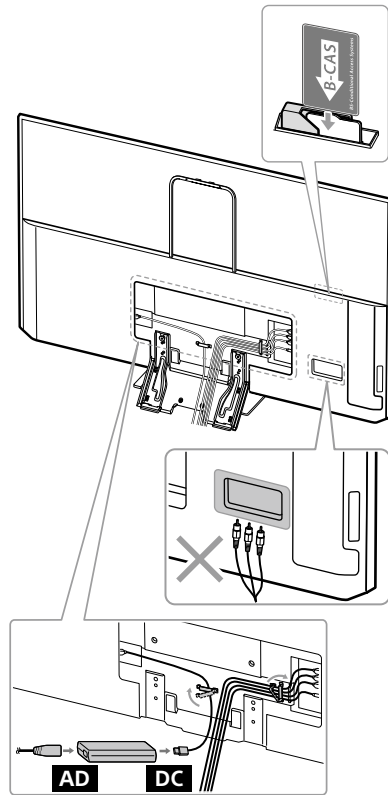
12 クッションを取り付ける。

上クッション **WM3** は、テレビを壁に掛けた後、テレビ下側を手前に引っ張ったときに、テレビが壁とぶつからないためのものです。



13 ケーブル類を取り付ける。

アンテナなどの接続方法は、テレビの取扱説明書類もご覧ください。

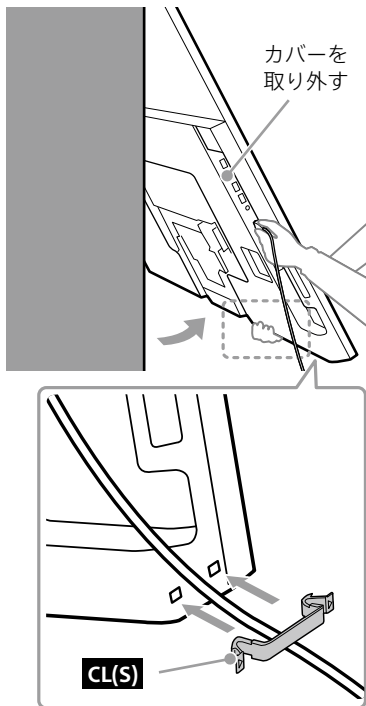


ご注意

- テレビを壁に掛けた後で、テレビ背面の端子にケーブル類を取り付けることはできません。壁に掛ける前にケーブル類を取り付けてください。
- テレビを壁に取り付けた場合、テレビ背面のコンポーネント入力端子とビデオ入力端子は使用できません。

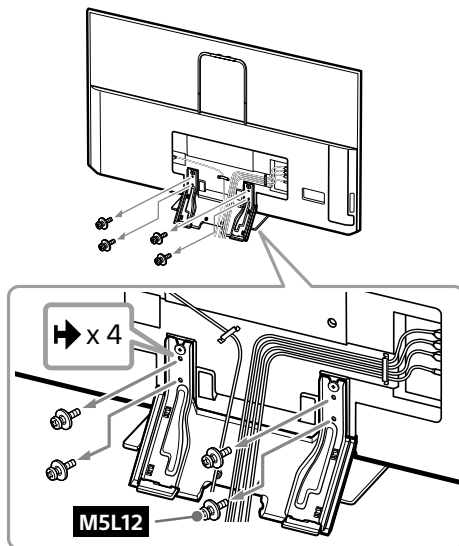
ヒント

- テレビ側面の端子には、テレビを壁に掛けた後も、テレビを傾けてケーブル類を取り付けられます。

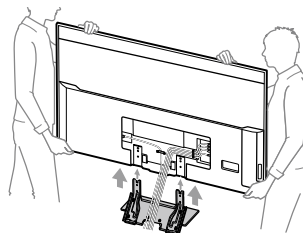


手順3：テレビを壁に掛ける

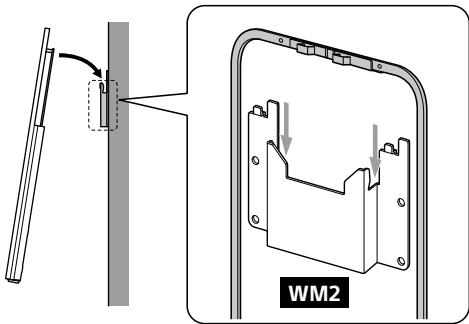
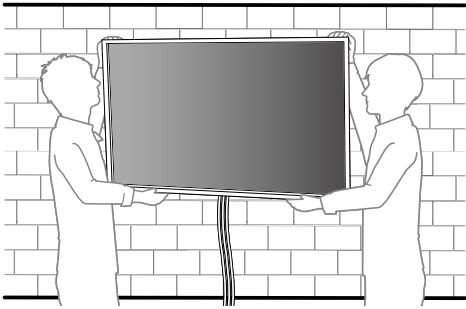
- 1 スタンドを固定しているネジを取り外す。



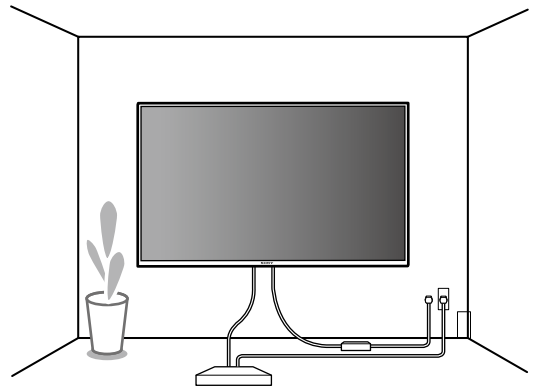
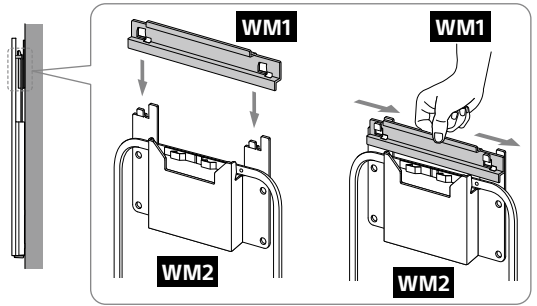
- 2 テレビをスタンドから取り外す。



- 3 テレビを持ち上げて、背面のU字型壁掛け金具を壁掛けブラケットに取り付ける。

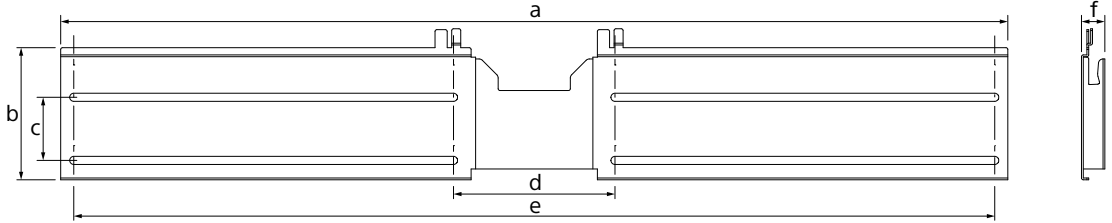


- 4 壁掛けブラケットカバー WM1 を上から取り付け、右にスライドしてロックする。

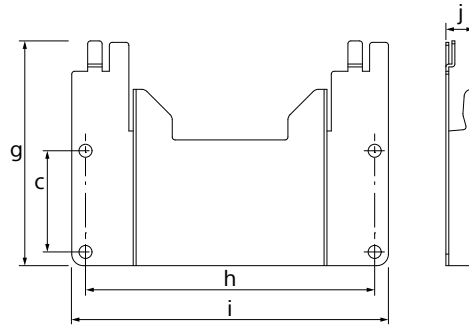


主な仕様

WM4



WM2



寸法：(約) [mm]

a : 1,050

b : 147

c : 70

d : 179

e : 1,021

f : 26

g : 156

h : 200

i : 219

j : 20

質量(壁掛けブラケットのみ)：(約) [kg]

WM4 3

WM2 1

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

